

森農園

上品な甘さとしっとりなめらかな食感
日本中に届け!「もりのべに」ブランド

水害で稲作不能になった土地を祖父が再生、
サンドポンプで砂を入れサツマイモ栽培の基盤を築いた。
きめ細かで水はけのよい海砂、ミネラル豊富な吉野川の伏流水、
そして潮風。最上の環境が紅色のきれいなサツマイモを育み、
品質へのこだわりが新たなブランド「もりのべに」を誕生させた。



革新的設備導入で品質・生産性向上による新たな販路開拓

1. 取り組みの経緯

育苗から、生産、収穫、販売までの全工程を一貫して行い、安心安全なサツマイモを生産。日々品質向上に努めているが、作付け面積と人材の不足により近年の需要増に十分対応できていなかった。問題は作業の非効率。機械を充実させることで、主たる担い手である高齢両親の負担減と生産性アップのための効率化を図り、捻出できた時間で付加価値アップのブランド化をめざしたい。

2. 実施内容

現行のフォークリフトでは排ガスが煤となって商品に付着し、品質劣化と洗浄がコスト負担だったことから、CO2排出のないHELL社リチウムイオンバッテリーフォークリフトとパレットトラックを導入。一台しかなかったフォークリフトの稼働中は他の作業が停止してしまうという非効率を解消するために、免許不要で女性にも扱いやすい国産のスーパーミニローダもあわせて導入した。

3. 取り組みの成果

低価格・高性能なHELL社製品は四国初導入。現行のフォークリフトの8割減の充電時間で早朝から夜まで作業でき、フル稼働の出荷が可能になった。サツマイモに付着する煤の洗浄の手間も解消。パレットトラックとミニローダが重労働と非効率を解消。大幅な効率化により捻出できた時間を念願のブランド化・高付加価値化に振り向け、贈答用「もりのべに」の販路開拓につながった。

事業者から一言 高付加価値の「もりのべに」を次代へ

人手不足で賃金も上昇しており、人を増やすよりも設備投資による効率化が鍵でした。大幅な効率化が図れたことで、ブランドを携えて展示会や商談会に出向くことができるようになり、販路拡大や契約に繋がりました。祖父の築いてくれた基盤のうえに地域で育んできたサツマイモ作りをもっと輝かせて次代へつなごうと思います。



代表
森 貴之氏



▲免許なしで操作可能、畑の作業も担えるスーパーミニローダ



▲パレットトラックで重いものの移動も難しくこなせる



▲リチウムイオンバッテリーフォークリフトが保管庫でも活躍

森農園

〒771-0103
徳島県徳島市川内町小松東19-13
Tel.080-5661-48745
●代表 森 貴之
●設立年月日 明治8年11月
●業種 農業・販売
●従業員数 4名